



(赤旗写真部提供)



No.532

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.plala.or.jp
頒価 50円

改憲阻止・平和のながれを前に 創立50周年躍進年間の諸課題達成を

主 な 記 事

- 中央常任理事会開く 1
- 私も一言／望月憲郎・日本国民救援会会長 3
- ブロック会議始まる 4
- 顕彰碑／エスペランチスト 長谷川テル 5
- 抵抗の群像／不屈の弁護士天野末治 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 7

2万の同盟実現し、激動の情勢をきりひらこう



常任理事会で増本会長は、猛暑と各地で災害が繰り返されるなかでも奮闘している「仲間の皆さんに心から敬意を表し、災害の被害に遭われた方々に心からのお見舞いを申し上げます」とのべました。

改憲をめぐる情勢や自民党総裁選、朝鮮半島問題、沖縄知事選などについて詳しくふれながら、2万人の同盟をつくることは、創立50周年の記念事業という意味だけ

ではないと指摘。安倍政権の憲法改悪という歴史的な反動攻勢に対して、国民・市民とともに闘い抜くためであり、その自力をつける重要な第一歩だと強調しました。

安倍自民党と改憲勢力の醜悪なシナリオを阻止するには、「改憲発議阻止の3000万署名」を達成することが重要です。署名運動を進める人たちに大胆に「同盟への入会」を勧めれば、全国2万人の達成は、不可能ではありません。労働組合や新婦人の会など諸団

(2ページにつづく)

沖縄知事選 玉城デニー氏勝利

9月30日投票の沖縄県知事選挙で翁長知事の遺志を受け継ぎ辺野古新基地をつくらせないを掲げた「オール沖縄」の玉城デニー氏が激戦を闘い抜いて勝利、安倍内閣に痛打をあたえました。

(1ページからのつづき)

体にDVD「種まく人びと」を観てもらおうなどして会員拡大と請願署名を進めることが、安倍政権打倒の力になります。

この活動は、たとえ国民投票になっても有効です。3000万署名の達成が改憲阻止のカギであることを確認したいと思います。

安倍政権がたくらむ改憲の国会発議阻止を正面に据えた3000万署名運動に取り組み、多くの仲間を迎えようではありませんか。積極的な意思統一をお願いします。

9条改憲阻止、沖縄知事選勝利、躍進年間の課題総達成を



田中事務局長は、8・15行動について、41県98カ所で407人が宣伝、新聞折り込みを含め8万4100枚のビラを活用。

署名は129筆、1人が入会。NHK・Eテレ放送の「自由はこうして奪われた 治安維持法10万人

の記録 (8月18日、再放送23日)

は、同盟活動の歴史的重要性を解明・実証したと報告しました。

会員拡大では、9月1日現在、大会比744人増の1万6071人となり、5人以上を拡大した人は26県110人。10人以上は13県35人に。6県が自主目標を達成しました。

教訓は①拡大の必要性と目標、期限を明確にする②幹部が支部に入って先頭に立つ③対象者を決め、いつだれがどこでだれにあたるかを決めること。「種まく人びと」DVD上映会と入会の訴えです。

支部建設では、大会後、新支部は9県で14支部が結成されました。支部を作れば活気がうまれ、会員拡大でも成果があがっています。1年で50%近く会員を拡大した千葉県では、支部を再建したり新たにつくったりしたことが力になりました。

5月の国会請願は178人が参加、署名は19万4332筆で、最近ではじめて20万筆を下回りしました。目標の実現に向けて都道府県本部大会・総会や支部総会で議

論を深めることが重要です。

署名集めの基本は、全会員に集めてもらう、力持ちの奮闘。NHK・Eテレを活用した治安維持法の学習、立憲民主党を推薦している労組への申し入れを重視。その際「治安維持法と現代」の紹介議員一覧を活用することが大事です。紹介議員は衆議院70人、参議院33人の103人。初めての紹介議員は24人。市民と野党の共闘の前進のためものです。議員の地元事務所訪問を強めましょう。

また、仮称「同盟運動の手引き」の作成、「種まく人びと」「抵抗の群像」「年表・50年の歩み」の普及、地方議会での意見書採択、青年部活動、全国女性交流集会の成功、犠牲者・先覚者の顕彰活動と犠牲者名簿の作成、ブロック会議などについても報告しました。このあと榎本よう子事務局次長が財政報告を行いました。

「イーリス・アショア(陸上イーリス)の配備に反対する」と「沖縄知事選挙で玉城デニー候補の勝利をかちとり辺野古新基地建設を中止させよう」の特別決議採択。



全米350以上の

新聞各紙は8月16日、トランプ大統領による報道機関攻撃を米国自身と民主主義への脅威だと批判し、報道の自由の重要性を訴える社説を一齐に掲載。米上院は同16日、「報道機関は国民の敵ではない」と確認する決議を全会一致で採択。わが国ではとても考えられない光景です。1923年採択の新聞倫理綱領(アメリカ新聞編集者協会)は健在であることの証明であろう。ひるがえってわが国のジャーナリズムはどうであろうか。大メディアの幹部は権力の中核と会食を重ね、消費税の軽減税率を求めて付度報道に臨んでいるといっても過言ではありません。1946年7月23日採択された新聞倫理綱領(日本新聞協会設立総会採択)は、戦前の大本営発表に従属した報道のあり方を反省し、その社会的責任の重さを強調しています。メディアは一つの「権力」ですが、私たち市民社会はこれを監視するとともに、庶民に寄り添うように激励もしたものです。

(大)

中央本部常任理事会での発言者

○藤田博登(千葉) NHK・Eテレ企画と同盟のかかわり。「種まぐ人びと」を補完する内容。○阿部俊雄(東京) NHK・Eテレ放映の評価と問題点。○大石喜美恵(大阪) 第29回全国女性交流集会の成功を。○瀬野幸男(山形) 新支部長10人拡大。犠牲者の名誉回復活動の大切さ。○福井正樹(岡山) 最高で充実した中国ブロック

会議。県版『抵抗と闘いの歴史』第4集発行。○風間秀子(東京) 荒川支部づくり。12人からプラス7人で結成。○天水貞照(宮崎) 熊本に学んで会員拡大。○小室仁彌(埼玉) 金田法相の「治安維持法適法発言」への対抗キャンペーンが必要。○鎌田哲成(青森) 犠牲者名簿292人分発行。先人の活動を柱に。顕彰活動の重要性。

○中村日出丸(千葉) 同盟支援者から10万円のカンパ、励みになった。た。県同盟総会で400人を超えたい。支部建設に力を入れる。○二階堂邦子(広島) 中国ブロック会議、62人参加。背筋を伸ばした発言に、エネルギーと希望をもたらした。○田辺実(奈良) 青年交流集会の具体化を。長谷川テル顕彰事業。日中合同犠牲者墓前祭。○森岡幸一(高知) 第64回日本母親大会in高知開催。横村浩没後80周年記念事業。○岡正信(兵庫) 青年交流会。増本論文の重要性。

た。県同盟総会で400人を超えたい。支部建設に力を入れる。○二階堂邦子(広島) 中国ブロック会議、62人参加。背筋を伸ばした発言に、エネルギーと希望をもたらした。○田辺実(奈良) 青年交流集会の具体化を。長谷川テル顕彰事業。日中合同犠牲者墓前祭。○森岡幸一(高知) 第64回日本母親大会in高知開催。横村浩没後80周年記念事業。○岡正信(兵庫) 青年交流会。増本論文の重要性。

女性の活動に学ぶ。地域の犠牲者の顕彰活動。○吉田万三(東京) 地域の講師活動での若者への語りかけ。同盟の要求への若者の反応。○山崎雅子(神奈川) 川崎支部での8・15全国ビラ活用。青年部活動の可能性を探る。○中嶋育雄(東京) …会員拡大と支部づくりの連動。沖縄との連帯。

いま話題の「同盟創立50周年記念出版物」三点を広めてください

DVD「種まぐ人びと」

第35回日本映画復興奨励賞受賞作品、見た方々から感動の声が続々 (頒価千円)

「抵抗の群像」第三集

時代を切り開いた先人の勇氣と決意を受け継ぐ—89人の魂の証言集 (頒価千五百円)

「治安維持法犠牲者への謝罪と賠償求めて50年」(年表掲載) この1冊で「同盟」の「不屈のあゆみ」が解る「会員必読の書」 (頒価三百円)

秘一言

私は4人兄弟ですが、父は太平洋戦争が始まったとき(1941年12月)、極寒の満州から夏服を着せられて輸送船に乗せられ、マレー半島上陸作戦に参加したとききました。

いったん帰

戦争と私と日本国憲法

望月 憲郎

ていたのかもしれない。両親は、私の生まれた月に施行された

日本国憲法から一字をとって、名前をつけてくれました。二人の平和に寄せる思いは、ひとしおだったのです。今再び、改憲、戦争への道を進めることは絶対に許されません。



国し結婚、44年に兄が生まれます。45年春に北海道で3度目の召集を受けますが、その時、姉が母のお腹にいました。国内で終戦を迎えた父は、間もなく家族の元に復員し、長女の産声を聞くことができました。そして、私、弟

(日本国民救済会会長)

ブロック会議始まる

100人が参加、女性が40%

東北ブロック交流会

同盟創立50周年・第28回東北ブロック交流会は100人(女性は40人)が参加して、盛岡市のつなぎ温泉で開かれました。

9月19日は、歴史研究家の藤田廣登さんが「治安維持法下の『闘いと抵抗の歴史』と同盟運動の前進のために」と題して記念講演。

針谷宏一中央本部副会長が挨拶。最上健造副会長が「討論の方向について」報告しました。各県代表の発言と自由討論で、会員拡大、国賠署名、議会請願、顕彰活動、



女性部の活動など学びあえる討論に。懇親会では、空手の演武や沖縄選挙応援から帰った人

の発言もあり。2日目は岩手から

「治安維持法と啄木・賢治・鶴彬」

の特別報告のあと、支部活動をはじめ集会初参加の感想や本部への質問などで自由に討論。交流集会にふさわしい内容となりました。

署名目標達成・青年部結成へ

中国ブロック交流会

中国ブロック交流会は9月2日、鳥取市の「しいたけ会館」で参加者40人で開催しました。中央本部増本一彦会長から「創立50周年記念、同盟運動の躍進年間」を成功させることの基調報告。各県の討論では、①署名の目標と達成計画②紹介議員を増やす取組。③地方議会の意見書の採択のため全議員へのはたらきかけ④女性部の犠牲者の顕彰活動⑤青年部の確立・財政強化を目指す取り組みなどについて発言がありました。夜の交流会では、鳥取県で作られた「日本基地を許すな」「原発を許すまじ」の歌で歓迎。2日目は各県の討論と山口県のイージス・アショア配

備撤回を求める特別決議を採択。

支部建設で会員拡大飛躍

関東ブロック会議

9月9・10日、神奈川県多摩二滞在の七沢温泉福元館にて、関東ブロック会議を開催。参加者7都県、65人。女性17人。来賓挨拶は畑野君枝衆議院議員。平野高士日本共産党神奈川県委員会副委員長。記念講演は五十嵐仁法政大学名誉教授・大原社会問題研究所名誉研究員。演題は「内外情勢と日本の針路」。

増本一彦中央本部会長が挨拶、吉田万三中央本部副会長が中央本部からの問題提起をおこなった。各都県本部の報告は、支部建設と会員拡大など。「種まく人びと」の上映会とむすんで100人拡大

(千葉)、168人の会員拡大(東京)など、支部建設と会員拡大の前進が報告されました。沖縄連帯の寄せ書きと、7万円の募金を沖縄県本部を通じおくりました。夕食懇親会では、参加者全員の自己紹介。2日目は自由発言。オプショナルツアーは、伊勢原市の「山

口家」で、相模の国における自由民権運動について説明を受けました。参加者27人。

50周年記念躍進運動の成功を!

近畿ブロック会議

2018近畿ブロック会議が9月18・19日京都市内で開催され、6府県から76人が参加しました。中央本部から田中幹夫事務局長が挨拶。有川功副会長が「中央本部常任理事会の報告をかねた近畿ブロック会議への提起」を報告、近畿各府県の特質を生かした多彩な活動を交流し、有意義な会議を期待すると述べました。記念講演は、「医学と戦争責任」731部隊を中心に」と題した滋賀医大名誉教授の西山勝夫さん。

次いで各府県からの10分間報告を行い、夜は懇親会で、よくしゃべり、食べて飲んで歌って、楽しみました。2日目は、2会場に分かれ支部活動を中心に、活発な発言が相次ぎました。

沖縄県知事選挙勝利へ物心両面の支援、寄せ書きとカンパを行い、沖縄に送りました。

顕彰碑 探訪

国際主義戦士・エスペランティスト 長谷川テル (中国名 緑川英子)

エスペランティストで、国際反戦活動家・長谷川テル (中国名・緑川英子 1912~1947) は、中国黒竜江省佳木斯の烈士陵墓公園に、夫劉仁は、佳木斯市政府によつて同市郊外に立地する「烈士陵園」に手厚く葬られている。

長谷川テルは、山梨県で出生、東京で育ち、1929年に奈良女子高等師範学校に進学。エスペラントを学び始めた4年生の9月、治安維持法違反で逮捕され即刻同校から退学処分を受けた。東京に戻りエスペラントをマスター。エ



スペラントが縁で中国から東京高等師範学校に留学していた劉仁と結ばれた。1937年4月、中国に渡り、想像を

絶する苦闘のなか、戦火に追われ夫とともに広州、漢口、重慶と活動拠点を移しながら日本兵士に「あやまって血を流してはならない。あなた方の敵は、海を越えたこちらの側にはいないのだ」と訴え続けた。

日本敗戦後、中国では内戦が繰り広げられるなか、中国東北部の佳木斯にたどり着いた。ここで解放後の中国で役割を果たそうとしたとき、1947年1月34歳で感染症で死亡した。夫・劉仁も3ヶ月後死亡した。

2018年8月25日、奈良県と大阪府の長谷川テル顕彰の会が合同で行った「日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅」(団長・宮城恭子さん)一行25名が墓参。中国佳木斯市政府と合同で「長谷川テル墓園式典」を行った。花束は、佳木斯政府と墓参団の献花である。

(奈良県本部会長 田辺 実)

県本部大会、躍進年間成功へ、積極的目標を持つて挑戦

これから支部建設500人に 千葉

千葉県本部第40回総会が、9月21日開かれ23人が参加。小松実会長が、先人の足跡の発掘と顕彰、請願署名、組織拡大で、いずれも大きな成果をあげたと述べ、来年の6月までに100人の会員拡大、500人目標、新役員に小松実会長、中村日出丸事務局長を再選。

全支部から60人参加 兵庫

7月1日、第37回県本部総会を開催。目標を達成した高砂支部、意見書採択の経験や顕彰活動など発言。会長に岡正信氏を選出。

「躍進年間」で350人に 岡山

岡山県本部第31回大会が9月23日に開催、50人参加。会長に小山博通さん、事務局長に福井正樹さんを選出。

200人会員、3000筆を 徳島

徳島県本部大会は9月8日、24人の出席で開催。大栗丸人会長、山本茂喜事務局長を再選しました。

代議員90%参加 新潟

新潟県本部は、7月21日、第36回県本部大会を開催、32人参加。

午後創立50周年記念・県同盟35周年記念レセプションを行いました。

創立以来の活動確認 埼玉

7月14日、県本部総会が開かれ、矢島会長が「同盟創立以来の再び戦争と暗黒政治を許さない闘いを」とあいさつ。矢島恒夫会長、岩田事務局長を選出。

躍進年間・4支部建設 山梨

第31回山梨県本部総会が7月29日開催され、33人が出席しました。支部づくりで会員増、署名到達を土台に、同盟運動躍進年間の中で、郡内4地域の議会請願行動、3000筆の突破、同盟員260人突破の新たな峰に挑戦。石丸あきじ会長、田中鉄夫事務局長再選。

顕彰と学習で後退克服 香川

香川県本部総会が9月7日29人の参加で開かれました。会員減、署名数後退のなかで迎えた総会、会を大きくするために先達の調査、発掘、学習の大切さが訴えられました。会長に太田展生、事務局長田中和夫の両氏を再任。

(7ページへつづく)

抵抗の群像



戦前・戦後を通じ真実を追求 不屈の弁護士 天野末治

あまのすえじ

天野末治は、1901年1月21日、美合村（現在の岡崎市岡町）の農家に、父柴田喜十、母たまの末子として生まれた。父は養蚕業も営み、養蚕組合や信用組合の役職に就く地元の名士であった。

末治は男川尋常高等小学校、愛知県立第二中学校を卒業後、家業を継がせたい父親の願いから、上田蚕糸学校に進学。当時の信州上田市は、民主的な教育運動の先端を行く地方都市であった。

「信濃自由大学」で山宣らに学ぶ農村青年を集めて「信濃自由大学」が開設され、新進の学者や評論家が、哲学や文学、法律学などを講義した。山本眞治、タカクラ・テル、恒藤恭たちが講師を務めた。末治は学校に通うかたわら、自由学校にも積極的に参加した。

京都帝国大学助教の恒藤恭の教えに強く影響を受け、京大で学問を深めたいと考えるようになった。

た。そんな時、父危篤を告げる電報が届いた。急いで岡崎に帰ったが、父はすでに虫の息であった。葬儀が終わったあと、末治は母親に京大進学希望を話した。たまは、末治がよく勉強し、学問への想いが強いことをよく知っていたので、静かに頷き賛成した。

22年に蚕糸学校を卒業した末治は、京大の経済学部に入學。経済学、社会科学の本を読みあさり、川上肇の経済学の講義に熱心に参加し、貧困問題を真剣に考えるようになった。原点は、末治の故郷・岡村の農民たちの貧しい姿であり、貧しい生活であった。

末治は大学3年のとき、高等文官試験司法科に合格したが、司法ではなく学者を志し、26年同大を卒業と同時に同大農学部農林経済研究所に勤務した。しかし農民たちの生活を考えない机上の学問に落胆して翌年、研究所を去った。

末治は弁護士となり、貧しい人たちのために働くことを決意。27年4月、京都の今井豊次郎法律事務所に入所。翌28年2月、大阪に本部を置く日本農民組合の顧問弁護士の一員に。労働農民党に入党し、労働者・農民のために献身的な弁護士活動を開始した。

しかし末治は活動の拠点を名古屋に置きたいと考えていた。なぜなら当時、婚約中だった天野つたの両親の面倒をみるためには名古屋で活動する必要がある。しかも名古屋には階級的な立場で闘う弁護士が一人もいなかった。

三・一五、四・一六事件を弁護つたと結婚して天野姓を名乗った末治は、名古屋地方裁判所前に事務所兼住宅を構え、全農三重県連合会の小作事件など200件以上を担当。そのうえ、三・一五事件、翌年の四・一六事件の法廷闘争も全て末治の肩にのしかかった。

30年には三信鉄道争議の支援で朝鮮人労働者のために闘った。争議団との打ち合わせをすませて名古屋の自宅に向かう途中、神宮前駅で待ち伏せしていた警察につか

まり鍋屋署に放り込まれた。特高警察が踏み込み「治安維持法違反」の罪で検挙し鍋屋署に連行したのは33年11月15日の深夜だった。2年後の35年12月、懲役2年、執行猶予3年の刑が言い渡され、同時に弁護士資格も剥奪された。39年、名古屋弁護士会への再登録を果たしたが、まともな弁護士活動もできず、岡崎で農業をやつて戦時下を過ごした。

「闘う弁護士」天野末治は戦後、活動をすばやく開始。46年2月には、愛知県農民団体協議会が発足し、委員長として東奔西走。農民協議会は6月9日、日本農民組合愛知県連合会となり、79組合1万4000人の農民を結集した。

翌47年8月には、「自由法曹団東海支部」の支部長となり、戦後のさまざまな弾圧、解雇事件の支援活動・法廷闘争を行った。

激務が重なり、くも膜下出血で倒れたあとも、活動を再開。真実に対する姿勢は変わらなかった。

76年3月1日、脳出血により永眠。75年の不屈の生涯であった。

(若山晴史・愛知県本部事務局長)

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

ステッキやポテトサラダにちらし寿司里の盆用意の娘らみなまぶし 島根県 小玉 信恵

傘寿迎えし我が友よついに入党決意せり三月二日 岡山県 中山 直樹

幸村の真田の郷から見下せば黄金色づく田んぼ続けり 埼玉県 福家 駿吉

毎日の如くに母の肩叩き笑顔見たかりし幼き我は 岐阜県 和田 昌三

封筒の裏に氏名はなかりしも請願署名十筆届く 静岡県 江川 佐一

雨上がり九条守れとマイク持てば若き外国人署名に 兵庫県 岸本 守

五年目に会いし同盟の歌友にして話はつきず明日の短歌に 島根県 大久保禮吉

権力と抗い命を削り来し翁長さんの無念いかにと思 岐阜県 田中 良

オスプレイ我が物顔に飛びまわる自国では遠慮して 大分県 渡辺 幹生

飛ぶというのに「九条の改憲」阻む闘いは「基地」ある限り止まざるもの 岩手県 小杉 正夫

〈選のあとに〉一番目・平和な風景。二・待っていた嬉しさ。三・素直な自然詠。四・母恋いの歌。五・物忘れ多くとも。六・行動するよろこび。七・短歌は生きるはげまし。八・翁長さんの意志つづ。九・従属への怒り。十・翁長さん追悼がにじむ。

俳句

望月たけし選

沖繩の夏の落日鎌を研ぐ

翁長遺志陸海結び天高し 岩手県 畠山 文裕

沖繩選熱燗似合う今宵かな 埼玉県 小池 莊八

秋灯し読み込む「未来社会論」 鳥取県 大久保禮吉

長き夜や北の大地の怒り識る 神奈川県 天野三葉子

〈評〉新しい基地はつくらせない。翁長さんの遺志を継承し、発展させていく。「鎌を研ぐ」は日常のアクション。二、三句も沖繩連帯の志だ。「未来社会論」はもつと広く学ばれ輝く社会科学に。

川柳

鈴木いさお選

石破氏を応援したい気分です 宮城県 根本 京子

〈評〉「正直」「公平」が争点という情無い総裁選。別に石破氏の支持者ではないが、あの(・・)人の3選よりは多少マシか。

核なくせ言えぬ総理で恥しい 大阪府 大和 峯二

敬老の日に返り咲く嬢捨記 鳥取県 大久保禮吉

みちのくの農業高校輝いた 埼玉県 小室 仁彌

全米Vなおみスマイル見て笑顔 大阪府 佐々木雅博

(5ページからのつづき)

若い力で飛躍を

京都

京都府本部第33回総会が、7月21日に京都市内で開催。30人余が参加。講演は、有川功中央本部副会長が、今日の同盟の意義と役割の話。若い力で京都の飛躍を実現するため、新会長と新副会長の選出。新会長は、原田完氏、事務局長に三原哲氏を再選しました。

40周年記念総会

長野

長野県本部の40周年記念の第43回総会が7月25日開催。35人参加。遠山会長代理、竹村利幸事務局長をはじめ27人の新役員を選出。

50周年目標達成を

鳥取

第26回県本部大会は7月22日、30人で開催。「創立50周年記念・同盟運動躍進年間」の運動の目標の提起。会長は安田睦美氏、事務局長に中村洋氏を選出しました。

50周年・40周年飛躍へ

熊本

熊本県本部総会が、7月29日開催。同盟50周年、来年県同盟40周年。節目の年にふさわしい活動方針確認。会員150人、署名、5000筆を達成し40周年を迎える。会長・小田憲郎、事務局長・関根隆氏を再選しました。

第29回全国女性交流集会 全国からこぞつて参加を

第29回全国女性交流集会は、11月11日(日) 全体会。12日(月) 分散会で、会場は昨年と同じ熱海市の「ニューウェルシティ湯河原」で開かれます。(下車駅は熱海駅と湯河原駅。無料シャトルバスがあります)

記念講演は、「治安維持法女性犠牲者のたたかいを語りつぐー私の語り部活動」、講師は、常任理事の岩下美佐子さん。夕食交流会に、「未来をつなぐレクイエム」第2弾を発表するなど精力的に活躍しているシンガー・ソングライターのケイ・シュガーさんが出演分散会

1 活動の交流(初参加者を中心に)、2 女性と憲法。3 語り部活動、4 いきいき女性部活動です。

参加要綱

申込書、分散会詳細は各県本部に送っています。全国からこぞつて参加してください。

申し込み締め切りは10月31日。お問い合わせは中央本部まで。

『治安維持法と現代』18年秋季号〈予告〉

【学習と運動に役立つ内容】

基礎学習Ⅱアベ異常政権の深層を衝くー安倍新内閣の性格、野望打ち砕く力の構築へ向けて(五十嵐仁・法政大名誉教授) / 今日における請願権の意義(小沢隆一・慈恵医大教授)。特別寄稿Ⅱ敗戦直後治安維持法廃止の先駆的活動の父、菊池邦作の軌跡(平山知子) / 小樽商大・小樽における浜林伝説(荻野富士夫)。エッセイⅡ尹東柱・治安維持法の犠牲に(池田功) / ひとミュージアム・上野誠版

創立50周年記念会員拡大
5人以上の顕彰者
(9月25日現在)

第11次発表・2名、(累計111名)

【北海道】 1名(累計18名)

坂元紳一

【静岡】 1名(累計5名)

浅野 猛

「顕彰者」の掲載を継続してまいります。「5人以上拡大」に挑戦してまいります。

画館(田島隆)。抵抗の群像Ⅱ

治安維持法に抗って、父、溝川良治(溝川悠介) / 鈴木弼美と反戦抵抗(後藤太刀味) / 愛知の誇り・長谷川民之助(西田一廣)。NHK・ETV特集「治安維持法10万人の記録」を視聴してⅡ北村隆志 / 田中隆夫。同盟運動のページⅡ都同盟の前進に寄せて(吉田万三) / 意見書採択・南あわじ市 / 支部建設・銚子支部・目黒支部 / 犠牲者名簿作成・青森・東京・兵庫・岡山・広島・長崎 定価Ⅱ1000円



追悼会 中央日報 9月2日
追悼会 中央日報 9月2日
追悼会 中央日報 9月2日
追悼会 中央日報 9月2日
追悼会 中央日報 9月2日
追悼会 中央日報 9月2日
追悼会 中央日報 9月2日
追悼会 中央日報 9月2日
追悼会 中央日報 9月2日
追悼会 中央日報 9月2日

県本部事務所住所変更

大分県本部

870・1155 大分県大分市大字玉沢168・1

高橋和夫様方

浜林正夫さん偲ぶ会開く

『治安維持法と現代』誌命名者の浜林正夫さんを偲ぶ会が9月26日、所沢市民文化センターで開かれ150人が参加しました。

教え子の佐々木憲昭元衆院議員が追悼の言葉を述べた後、荻野富士夫小樽商大名誉教授、市田忠義参院議員、増本一彦会長などが、思い出を語りました。

事務局日誌

9月2日 亀戸事件追悼会(写真上)
9月2〜3日 中国ブロック会議
9月3〜4日 大分県本部再建準備会

9月6日 三役会議・国際部会
9月7日 常任理事会
9月9〜10日 関東ブロック会議
9月10日 富山県本部総会
9月12日 国際人権活動日本委員会
代表者会議

9月18〜19日 近畿ブロック会議
9月19〜20日 東北ブロック会議
9月20日 平和の権利実行委員会
9月21日 千葉県本部総会
9月24〜25日 北海道 北信越ブロック会議

9月26日 浜林正夫さん偲ぶ会